



ホームページアドレス <http://www1.com.ne.jp/~mizumaki>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第324号

「気が散る」

マヘル神父

私は、ミサの説教の中で、祈りについて「その方法や手段は色々あります。どの方法でも良いですから祈ってください。大切なのは、“祈る”ことです。」と話してきました。

ある方にとって、「ロザリオの祈り」は、長年慣れ親しんできた祈りでしょう。又ある方は、「十字架の道行」をする時、自分の苦しみをキリストの受難に合わせて捧げる体験をしていらっしゃるかもしれません。「主よ」と言う短い言葉で静かに深く祈る方、「詩篇」を使って神の民の祈りをするのも良い祈りです。若い頃と年を重ねた今とは、折り方が違って来ているかもしれません。

今日、私は皆さんに、ある「祈り方」を勧めたいと思います。

祈っている時“気が散る”という体験は、どうでしょうか。ありますでしょうか。具体的なことを願っているのではなく、又はっきりしたお詫びの気持ちで祈っているのではない状態の時、この“気が散る”という体験をすることが多いと思います。心を神様に向け神様の呼びかけを聴こうとしている祈りの時でしょう。この祈りは、キリスト者として本当に大切な祈りです。そして私の勧めたい祈りは、この祈りです。

執り成しの祈り、願い、悔い改めの祈りなど勿論とても良い祈りです。でも、できれば朝、「神様に先ず心を向ける」この祈りをしてみましょう。この祈りをすることによって、これから始まるその日の思い、言葉、行いなどを神様への捧げものにすることができると思います。“気が散る”という体験に話を戻します。原因は、様々あるでしょう。心配事は、

主に委ねてと解っていても、頭から離れない時もあります。又ただ寝不足から身体が疲れて注意散漫になる時もあるでしょう。この様な時、がっかりしないで、“自分の弱さを受け入れる”わけです。そして祈りの時間を供え物として捧げるのです。自分の足りなさや欠点を認めることができた時、神様の憐れみに対する信頼が生まれ、大きな喜びが湧いてきます。この信頼と希望による喜びだけが、真の平和をもたらすのです。

もしも、祈っても喜びや平安を感じることが出来なかったとしても、その時間を過ごせたことを信仰のうちに感謝しましょう。

すでに以前から五分、又二十分この祈りをしていらっしゃる方は、どうぞ続けてください。ある方は、朝早く仕事に出かけるでしょう。またある方は、小さいお子さんのいらっしゃるお母さんでしょう。しなければならぬ家族の世話など義務は優先されます。ですから、神様とだけ過ごす幸せな祈りの時、一人ひとり自分に合った祈りの時間を見つけてください。

あなたが祈りたいと思った時は、先に神様があなたを誘ってくださっているのです。

白濱神父黙想会報告	2・3面
今月の聖人	3面
委員会等報告	4面
パウロの歩いた道	5面
聖書研究回の紹介	6面
洗礼を授かった喜びを	7面
聖書勉強会	7面
おしらせ・教会学校	8面

白濱神父黙想会 3月15日(土)～16日(日)

水巻教会聖堂において行われた黙想会報告：今回は第2回です。

(前号で述べたこと、卵の美味しさは味わって分かるもの、見せられないものであるように、)神は私の中に住んでくださっているものであり、これを感じることはあっても、信仰の恵みは見せることはできません。しかし、神を見てみたいという願いを、神は2000年前に、叶えてくださったのです。ユダヤの、イエス、マリアとヨゼフの家庭。神から遣わされたイエスが、神を私たちに伝えたのです。

ある素晴らしい、お話があります。

カトリックの信仰に満ちた村に居た80歳のおじいさん。洗礼は受けたものの、哲学者となり、教会から離れ、無神論者になっていた。クリスマスの日が来て、村の真ん中にある教会の鐘が聞こえます。しかしミサには行かず、薪を焚き、暖炉のそばで本を読んでいた。そこで、天気が急変、雪模様に。夜空を飛んでいた1匹の小鳥が、明かりがついているこの家の窓を目指して急降下し、激突し、気を失い、次いで凍え死にました。20～30分が経過すると、多くの小鳥たちが同じふるまいをし、窓の下には、雪の中、30羽の鳥が凍え死んでいきました。

おじいさんは小鳥を助けようと思い、窓を開け、小鳥に、「こっちに来るな、危ないぞ」と伝えようとしてました。身振り、手振りを大げさにして。おじいさんは、小鳥に言葉を伝えたい。どうしたらよいか？と必死に考えるようになりました。

それは自分が小鳥になり、小鳥に言葉を伝えること。小鳥に言葉を伝えるには、自分が小鳥になるしかない！

その瞬間、おじいさんにクリスマスを告げる教会の鐘が聞こえました。このクリスマスに、神が人間となり、私たちと同じように生活をしてくださったという意味が分かりました。あらゆる人間をも導くため、人間になった。イエスは、人間のこの地上にて生かされたが、最後に、神は人間となって死んだ。

ここで重要な点は次のとおりです。1. 神は、私たちの心の中におられる。2. 神は人間となった。(これはキリスト教が他の宗教とは違うところです。)

神が人間の世界に生まれました。いつ生まれるか、人間の歴史の中でいつを選ぶかは、天の父が決めたことです。時が満ちた時、ユダヤ教の中で、マリアを母として、イエス・キリストが生まれました。そして、イエスは、私の記念として行いなさい、と言って、この世を去ったのですが、この記念については、これから考えます。

私の記念として行いなさい、の意味はどういう意味でしょう？

聖書のヨハネの手紙4-7には、「愛する者たちよ、互いに愛しあいなさい。愛する者は神から生まれ、神を知っている。私が神を愛したのではなく、御子をお遣わしになった神が

私を愛されたのである。」神はひとり子を世にお遣わしになる。イエスが地上を去る時も、人々のことを思っていた。

私の母が、2005年84歳で最後を迎えた時の話です。胃の下にガンができ、十二指腸が詰まる。食べものも入らない。母に会った最後の時はGW。その時、神学校も休みだった。母は点滴のみで生きていた。私とその日の午後には帰るといふとき、母が「食事は出ていないのか」と分かりきったことを聞く。医師はもう最後と分かって、「望み通り、させてよい。」と。母に何が食べたいか聞くと、「饅頭」と答える。

そこで、饅頭をスーパーで探した。ところが、あったのは一口サイズのカステラ。さらに目についたのが野菜ジュース。母は、カステラを食べ、野菜ジュースを一気に飲み干したが、これらが母の最後の晩餐だった。

人間は、食べること飲むことで生きようとしている。イエス様が生涯の終わりに何を記念として、何を残したか。貧しい人でも食べるパンとぶどう酒、生命のもととなるものを残した。この聖体の秘跡を考え、御父から使わされて、人となったことを考えるべきだ。(イエスは人となり) 貧しい生活を送り、人間のことばでわかりやすく語った。そして十字架で命を捧げてくださった。

それを記念として伝えることは、2000年前、パレスチナのユダヤの地に来て下さっただけでなく、今も、私たちのもとに神がきている。

イエスは何をもって最後の記念としたか。エジプトにたくさんのモニュメントがあり、大きなものほど拝みたくなる。そういうものを、イエスは用いなかった。

そうではなく、人間の食べ物を選んだ。母がなくなったとき、人間は食べることが価値あるものであると分かった。イエスはそこに目を付けて、人間の食べるものとなった。毎週日曜に、2000年前の出来事が、(繰り返し) 現れてくる。(編集、三谷)



今月の聖人

17日 聖フランシスコ・レジス司祭 1597年-1640年

レジスは、フランスのフォンクーヴェルト村の貴族の家に生まれた。イエズス会の学校に入り、18歳のときイエズス会に入った。33歳で司祭となるまで、勉学・修行に専心した。その後、フランスに巡回説教師として派遣され、ソンミエール、ル・ピュイでも活動した。

彼の説教は、とても分かりやすく、多くの人々に感動を与えた。寝食も忘れるほど人々のために献身しそして祈り、人々を信仰へ導いていった。特に、貧しい人や娼婦の更生のために力を注ぎ、彼らのために施設を建てた。

委員会等報告

2014年4月分

4月度(臨時)小教区委員会

4月27日

総会(5月11日)の資料に基づき、報告、および次のような意見交換がありました。

*水巻教会の親睦会について [信徒] 以前、「教会としてはバザーをしてはいけない」と言われたが、自分が教区に通じた司祭に尋ねたところ「教会でバザーは禁じられていない」と聞いた。

*馬小屋作り [神父] 待降節に人形を全部出すべきでなく、クリスマスの数日前まで待つべきだ。

*聖堂の塗装等工事について次の様な議論がありました。

- ・[信徒] 何人かによる部会を作り、かつ部会長を作るべきだ。
- ・検討する委員会を作っても、5万円での見積りを無駄にするわけではない。
- ・以前の教会建設の委員も入るべきだ。
- ・呼び掛け人は新・小教区委員長とし、実行委員会を作る。これを総会で呼びかけ、第1回は6月中に行いたい。

*小教区委員名簿で典礼委員長が神父であることについて、次の様な議論がありました。

- ・[典礼委員会委員] この事は典礼委員に知らされてなかった。信徒の自主性の点で問題があるとの意見があったが、新年度としては承る。
- ・[信徒] 小教区の規約上、信徒が典礼委員長になるべきだ。
- ・第2バチカン公会議の精神からはどうか。
- ・会社組織を見れば、兼任はよく見る。
- ・司祭が派遣されて来て、司祭によって典礼のスタイルに違いが出る。司祭はそういう役割。
- ・教会の典礼に、司祭・信徒の区別はない。

信徒総会の報告について (5月11日)

今年度の信徒総会は5月11日ミサ後に開催されました。会計報告や活動報告、および活発な討論が行われました。総会の内容については、当日、報告や提案書が皆さんに配布されましたので参照してください。当日の議事録については、役員会で作成をしていますが、からしだねの編集日までに間に合いませんでしたので、次号で報告させていただきます。

但し、今回の主たる件である外壁塗装工事については、主要点を急ぎ伝える必要があります。新・信徒会長にからの文言を掲載します：「外壁塗装補修工事のための部会を作り、その参加者を募集します。」

パウロの歩いた道 No.4

パウロの旅の出発地は「シリアのアンティオキア」です。この町には、ステファノの殉教をきっかけに起こった迫害のためにパレスチナを逃れた信者たちが集まってきていました。弟子たちは彼らにイエスの考えを伝え、新しい信者も増やしていました。このことを知ったエルサレムの教会は、バルナバをエルサレムから派遣しました。

バルナバはアンティオキアでの宣教活動のために、全ての活動を辞めて故郷のタウロスに帰っていたパウロを、タルソスまで捜しに行きアンティオキアに連れて帰りました。

アンティオキアからタルソスまで歩くと3日くらいかかると思います。この距離は今の私たちからするととても遠いのですが、この時代の人たちにとっては近かったと思うのです。

2人は1年間そこの教会で人々にキリストの言葉を教えました。(使 11 章 19～21 節)

ここで注目されるのは、彼らのことを周りの人たちが「キリスト者」と呼ぶようになったのです。クリスチャンの誕生です。(使 11 章 22～26 節)

このアンティオキアという町は、中心をオロンテス川が流れ、海に通じていました。海からの距離もかなり近く、エジプトの女王クレオパトラの物語などでは、船がこの町まで来たと書いてあります。このころは、ローマ、やエジプトのアレキサンドリアに匹敵する人口 50 万人の大都市で、シルクロードの終着点として栄えていました。しかし、今はパウロの時代から 2000 年過ぎましたので、上流から流れてきた土砂で埋まり、海岸まではかなり遠くなっています。その上、4回の大きな地震のために町は壊滅的な被害を受け、今は小さな町になっています。しかし、古代に栄えた町なので、素晴らしいモザイクを集めた博物館もあります。特筆すべきなのは山の斜面にある聖ペテロの教会と呼ばれる洞窟教会です。伝承によるとこの中でマタイの福音書が書かれたとか、この一帯はルカ家の所有地であったなどという話を聞くと、聖書の世界が目の前に現れてくる気持ちになります。

この町は交通の要所でもあったので、イエスの教えが旅人によって広く伝えられる状況であったと言えます。

タルソスからアンティオキアに行く時は、その間に長い峠がありますが、峠の手前にイッソスという平原があります。ここでマケドニアのアレキサンダー大王軍がペルシャ軍を破りペルシャ帝国が消えてしまったという史跡があります。その先の街道の横に連なる山並みには十字軍がエルサレムに進軍した時に造ったと言われる砦の跡がたくさん残っています。

アンティオキアでキリスト教が盛んになり信者が増えて行きましたが、ここは多くの人を訪れる町でしたので、キリストの教えが各地に伝わって行きました。

教会は宣教活動の大切さを認識し、バルナバとパウロを宣教者として派遣することを決めたのです。2人は「マルコと呼ばれていたヨハネ」を連れて川の下流にあった港町セレウキ

アからキプロスに行く船を見つけて旅立って行きました。

聖書研究会の紹介

聖書の分かち合い

創世記に書かれているアダムとイブのお話ですが、イブが蛇に騙されて食べた木の実は何か知っていますか？ある司祭に尋ねられた時、即座に『リンゴです』と自信を持って答えました。では聖書を開いてみましょう。

「リンゴ」の「リ」の字もなく、そこに書いてあったのは善悪を知る木の実としか書いてありませんでした。絵画や歌などで思いこんでしまっていたのです。

では創世記はいつごろ書かれたと思いますか？再び尋ねられた時、聖書の最初に置かれているので最も古いものだと思います、紀元前 1500～2000 年ですか？と答えました。

その司祭は笑いながら、残念ながらそれは紀元前 400 年頃だと教えてくれました。なぜそんな新しいものが聖書の最初に置かれているのかを聞き、自分の無知を思い知らされると同時にあまりにも聖書に関心を持っていなかったことを痛感させられました。それからです。聖書を読んでみようかなと思い始めたのは・・・。読み始めると次から次へと疑問が沸いてきたり、こんな意味があったのか！と知らされました。

最近思ったことを一つ書きましょう。聖木曜日最後の夜、イエスは弟子たちの足を洗います。「私があなた方にしたようにあなた方も互いに足を洗いなさい」といいながら弟子たちの足を一人ずつ洗います。イエスを裏切ったユダの足を洗うとき、また同じようにイエスを裏切ったペトロの足を洗うとき、イエスと目を合わせたのではと想像します。その時ユダの気持ちは？ペトロの表情は？などと思いめぐらすと、イエスが私たちに伝えたいことは足を洗うことだけではなかったように思えます。

現在 8 名のメンバーが毎週水曜日 7 時半に集まって聖書を読んでいます。「私の名において 2, 3 人が集まる所に私はいます」イエスの言葉を感じることができるようと思っていますが人間の弱さなのか、分かち合いがとんでもない方向へいたり、聖書と何にも関わりのない話になったり、と右往左往しながら分かち合いをしています。

「水曜の聖書の分かち合い」。私の知る限りではベルトラン神父様の時からだと思います。天国に召された先人たちもたくさんいました。約 40 年の間、司祭が変わるたびに内容は少しずつ変わりましたが、「私の名において集まる所に私はいます」このイエスの言葉を大切にしながら続けています。昼間仕事などで来られない方々、もし夜少しでも時間のある方々、是非一緒に聖書の分かち合いをしませんか。

車のない方は言って下さい。メンバーができる限りお手伝いします。多くのに皆さんの参

加をお待ちしています



洗礼を授かった喜びを

ヨゼフ 中村順一



4月19日のご復活前夜祭に、洗礼とご聖体を授けて頂いた神様に感謝いたします。私がキリスト教に出会えたのは、1975年頃だったと思います。妻が黒崎教会のトクバク（徳山登）神父様に洗礼を授けて頂きました。

我が家にも神父様と、館林シスター様も、訪問して下さったこともありました。そして、20年くらい前に浅川に引っ越したところ、隣が私の代父、宗さんのお宅でした。偶然にもカトリックの信者さんで、おばあちゃんが妻を水巻教会に誘って下さいました。その間、私は送り迎えはするものの、神様に心を開こうとはしませんでした。唯、キリスト様の回りを、ウロウロしているだけでした。昨年8月より、マヘル神父様のご好意に依り、要理の勉強をして、ご復活前夜祭に洗礼の秘跡、堅信の秘跡、ご聖体の秘跡を授けて頂きました。

初めて、ご聖体の秘跡を授けて頂いたときには、感激で体が震え思いでした。このときめきを、忘れる事のないように、イエス様について参ります。

人生の節目でもある喜寿のあいだに受けられたことは、二重の喜びです。教会の皆様、四旬節の間は、ご祈願と励ましのお声を頂き、ありがとうございました。これから、水巻教会共同体の一員として、末席に加えて下さい。宜しく、お願いいたします。



聖書勉強会（黙想の家）

福岡黙想の家院長の中村克徳神父様による聖書勉強会が月2回程度あります。「ヨハネによる福音」を読み始めて約2年になります。ザビエル聖堂献堂の前後、神父様が多忙で集まりを半年ほどお休みしたため少し時間がかかっています。

勉強会は、神父様のギター演奏に合わせて賛歌を歌うことから始まります。勉強は、福音書の1章または、まとまった箇所を交代でゆっくり2度読んだ後、さらに黙読し、神父様も交えて心に響いた言葉や文を互いに紹介し合います。その後自分の選んだ箇所についてコメントし、分かち合いに入ります。神父様は、わたしたちが疑問に思うことについて、必要ならばギリシャ語聖書まで参照して答えて下さいます。「ヨハネによる福音」には『イエス・キリストは神である』というメッセージが早い段階から随所に記されているといひます。

日時と場所は、金曜日の19時半から約1時間半で、福岡黙想の家入り口のログハウスです。6月の予定は13日と27日です。古賀教会からの参加もあって楽しい意見交換が出来

ます。体験参加大歓迎です。

問い合わせ：赤間地区 吉永 矢田



6月のおしらせ

★特別献金★

○4月13日

福岡教区司教座教会特別献金
33,785円

○4月18日 聖地エルサレム献金

29,570円

○四旬節 愛の献金

76,955円

ご協力、ありがとうございました。

★特別寄付★

4月に洗礼を受けられた中村順一様より、
ご寄付をいただきました。

ありがとうございました。

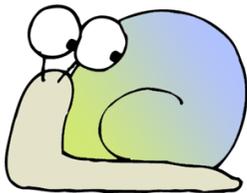
★納骨堂委員会より★

亡くなられた方の追悼式をご家族でしたい方は、日曜日以外でも構いませんので、神父さまにご相談ください。

★ふれあい会よりお願い★

コーヒーやお茶の葉などのご寄付を頂き、ありがとうございました。

ふれあい会では、今現在、メンバーが足りていません。お手伝いできる方は、メンバーまで声をかけてください。どうぞ、よろしくお祈りします。



教会学校のページ

4月27日

○歓迎会をかねて、クッキー作りをしました。

5月11日

○十戒について聖書を聞き、資料を見ながら、神学生のエリックさんにお話をさせていただきました。

